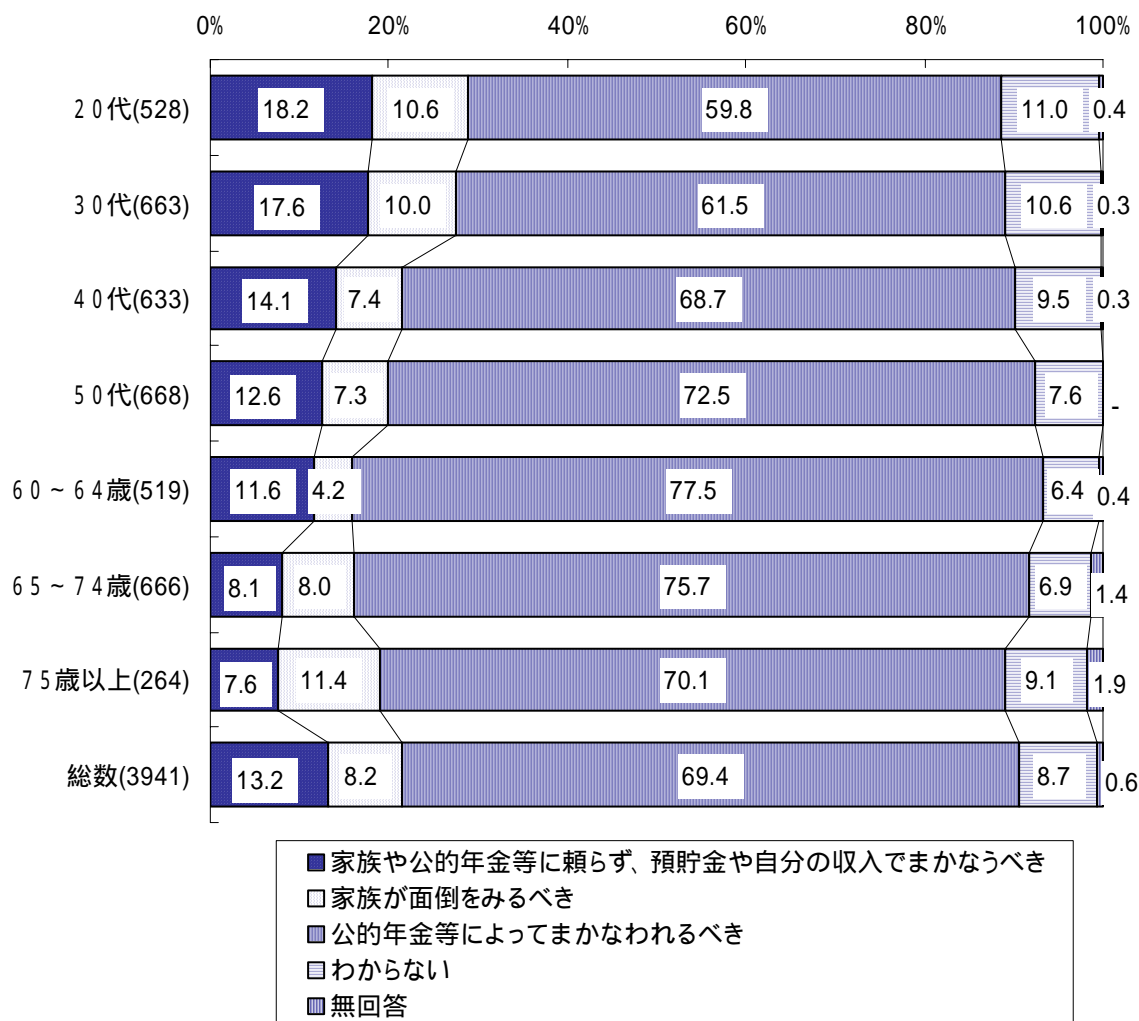


20 高齢期の生活保障について（Q20）

「一般論として、高齢期の生活費は主に何によってまかなうべきか」についてみると、「公的年金等によってまかなわれるべき」が69.4%と7割弱を占めて最も高く、以下、「家族や公的年金等に頼らず、預貯金や自分の収入でまかなうべき」13.2%、「家族が面倒をみるべき」8.2%の順となっている。

図20 高齢期の生活保障について（Q20）



年齢別にみると、「公的年金等によってまかなわれるべき」は20代(59.8%)、30代(61.5%)で割合が低く、「家族や公的年金等に頼らず、預貯金や自分の収入でまかなうべき」は、年齢が高くなるほど、割合が低くなっている。

都市規模別にみると、「家族や公的年金等に頼らず、預貯金や自分の収入でまかなうべき」は、大都市で17.8%と割合が高く、「家族が面倒をみるべき」は、町村で11.4%と割合が高くなっている。

表 20 高齢期の生活保障について (Q20)

	総数	家族や公的年金等に頼らず、預貯金や自分の収入でまかなうべき	家族が面倒をみるべき	公的年金等によってまかなわれるべき	わからない	無回答
【総数】	3,941	13.2	8.2	69.4	8.7	0.6
【性別】						
男性	1,862	12.6	8.5	71.4	6.9	0.6
女性	2,079	13.7	7.9	67.6	10.3	0.5
【年齢】						
20代	528	18.2	10.6	59.8	11.0	0.4
30代	663	17.6	10.0	61.5	10.6	0.3
40代	633	14.1	7.4	68.7	9.5	0.3
50代	668	12.6	7.3	72.5	7.6	-
60～64歳	519	11.6	4.2	77.5	6.4	0.4
65～74歳	666	8.1	8.0	75.7	6.9	1.4
75歳以上	264	7.6	11.4	70.1	9.1	1.9
【都市規模】						
大都市	911	17.8	5.9	67.5	8.5	0.3
中都市	1,498	12.0	7.3	71.7	8.5	0.5
小都市	727	10.3	9.2	70.2	9.9	0.4
町村	805	12.8	11.4	66.5	8.2	1.1